

表彰式（記念イベント）について

<今年度の開催について>

○内閣官房コロナ室発出の「来年 2 月末までの催物の開催制限について」に従いながら、対面での表彰式を行う。

収容人数の制限

・内閣官房コロナ室が発出しているガイドラインに従い、大声を発しないなどの催事の参加人数は収容人数の 100%までとする。

→環境省第一会議室の収容人数は 32 人であるため、32 人に制限。

・参加受賞者は大臣賞、各協会賞、まち大賞受賞者までとし、各受賞者参加人数は 2 人までに制限する。

撮影時

- ・一席開けるなど、距離をとって撮影する。
- ・着席時も隣席と距離をとる。

賞状受け渡し時

- ・手袋の着用

発表時

- ・マスクをしたまま発言いただく。
- ・マイクは持ち手を適宜消毒する。

○ほか常時体制については「【参考資料 7】内閣官房コロナ室発出の来年 2 月末までの催物の開催制限について（該当箇所抜粋）」に従う。

<今年度の開催形態について>

○昨年度までは記者クラブにも張り出しとし、報道関係者も来場可能としていたが、今年は関係者限りとする。一般観覧者は Web から見てもらえるように調整する。（当日ライブ配信と後日配信を予定）

<表彰式の日時及び場所> ※令和 3 年 1 月に報道発表予定

- 日時：令和 2 年 2 月 19 日（金）14:30～17:00
- 場所：環境省第一会議室（22 階）

<表彰式のプログラムについて>

1. 名刺交換 (30 分弱)

○受賞者及び委員間での交流を図るため、動線等確認後、開会までの間、名刺交換の時間を設ける予定。

2. 賞状授与、全体講評、集合写真の撮影 (25 分)

○賞状授与時に一度正面を向いて写真撮影を都度行うことにより、昨年度より 10 分短縮する。全体の流れとして、企画コンテストの賞状授与（賞状を授与する際にプレゼンターとの個別撮影を行う）、全体講評、集合写真の撮影を予定している。例年通り、全体講評については座長にお願いしたい。（タイムテーブルは別添 6 を参照。）

3. 受賞者による企画内容の発表 (60 分)

○昨年度より質疑の時間を延長する。大臣賞受賞者及び三協会受賞者、まち大賞受賞者には今年度も企画内容の発表をしていただく（コメントの時間を含めて環境大臣賞は 12 分程度（昨年度は 15 分）、三協会賞はそれぞれ 10 分程度（昨年度は 11 分））。また、まち大賞受賞者には 12 分の発表時間とする。（コメント時間含めて 15 分）。入賞受賞者については企画内容の発表をしていただく。ただし、受賞企画の数によって時間等は調整する。

○受賞者には「コンテストに応募しようとしたきっかけ」、「企画内容の説明」、「これからの企画の見通し、目指すところ」等を話していただく。

○まち大賞受賞者には、「継続の上で苦労したこと」「工夫したところ」「続けていて得たもの」等を話していただく。

○受賞者による企画内容の発表後、審査委員には、「どのような印象や感想を持ったか」「どういうところが優れていると感じたか」「企画を実現していく中で気をつけて欲しいこと」「企画のこれからの可能性」などを御発言いただきたいと考えている。

○今年度は委員のコメントだけでなく、ほかの受賞者からの質疑応答も検討。

○委員からのコメントは評価表に記載いただいたコメントを委員の名前を伏せて受賞者へ公表予定。

4. 講演 (50 分)

- 昨年度までは講演を行っていたが、今年度はシンポジウムを行うことを考えている。ひとりがコーディネーター、ほかパネルの 4 人程度とし、テーマは出演者の選定後決定とする。(過去の講演テーマ・講演者一覧等は参考資料 6、7 を参照。)

【候補者】

- ・宇田川氏
- ・藤田氏
- ・近藤氏
- ・五百蔵氏